

2014 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」 助成公募決定のお知らせ

一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストが公募した「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」追加助成について、計 4 件の企画が採択されました。選考委員についても併せてご紹介いたします。

2014 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」 助成公募選考委員（あいうえお順）

- 岸田ほたる(元 A SEED JAPAN 事務局長)
- 後藤和明(らでいっしゅぼーや農産部長、Radix の会常務理事)
- 田中 優(未来バンク事業組合理事長)
- 古瀬繁範(地球と未来の環境基金理事長)
- マエキタミヤコ(サステナ代表)
- 宮田秀明(摂南大学名誉教授／環境科学、食品衛生学、公衆衛生学)
- 安田節子(食政策センター ビジョン 21 主宰人)
- 山田敏郎(金沢大学名誉教授／化学工学、蜂群崩壊症候群研究)
- 星川 淳(アクト・ビヨンド・トラスト理事長)

「浸透性農薬が生物多様性と生態系に及ぼす悪影響に関する「世界総合評価」(WIA)の成果普及と議論喚起」

IUCN(国際自然保護連合)浸透性農薬タスクフォース(申請者:Maarten Bijleveld van Lexmond)

助成金額:800,000 円【調査・研究／広報・社会訴求／政策提言部門】

影響力の強い専門誌に掲載予定の「世界総合評価」(Worldwide Integrated Assessment=WIA)は、浸透性農薬による生態系や生物多様性への悪影響に関する科学的な知見を、独立の立場から包括的に評価したものである。IUCN 浸透性農薬タスクフォースには 15 か国から 50 人の科学者が結集して、過去 4 年間この問題に関する検証を続け、2014 年半ばの発表を予定している。本企画は、日本における WIA 普及努力の一翼を担う。

「生きもの元気米(生物多様性認証米)の取り組みによるネオニコチノイドフリーエリアの拡大」

NPO 法人河北潟湖沼研究所(申請者:高橋 久)

助成金額:750,000 円【調査・研究／広報・社会訴求部門】

2013 年に石川県河北潟周辺地域においてラジコンヘリによる害虫防除と畦の農薬散布を行わない水田を増やす取り組みを実施し、農薬の使用による生物多様性への影響や稲作被害低減効果の実態を調査したところ、農薬使用が生物多様性へ大きなインパクトを与えた一方で、農薬不使用がカメムシ等の被害を拡大しなかったことが確認された。こうした結果と、先行して実施した無農薬米の発売実績により、一部農家の賛同を得て、生物多様性米の認証の仕組みを構築した。2014 年度は、こうした取り組みを拡大するためのより精密な調査の実施と、地域に取り組みを浸透するためのシンポジウムを計画する。

「ミツバチからのメッセージ」

特定非営利活動法人 F.O.P(申請者:杉浦 歩実)

助成金額:750,000 円【調査・研究／広報・社会訴求部門】

著書「A Tale Of One Queen Bee～ミツバチからみた蜂群の大量死～」(NPO 法人 TreasureGardenPlanet 共同代表理事 後藤純子)のダンスミュージカルを制作し映像化する。ミツバチの役を演じることで、ミツバチの目線に立ち、そこから見えた環境の現状(ミツバチの生態・大量死)から、これからの生き方(多様な命が存在する豊かな里山ビジョン)を考えられるような作品とする。ダンスミュージカル出演募集対象には自然環境などに関心のない若者が多く含まれるが、ミツバチの生態や暮らし、農薬がミツバチ・人間・環境に及ぼす影響、問題を知る学習会や農業のお手伝い等にも参加することを出演の条件とする。そして今回の作品制作や好きなダンスを通して、伊那谷の最大の価値である自然環境、自然共生の暮らし、農林業について興味を持ってもらい、その姿がさらに無関心層の関心へと繋がっていくようにしたい。また、学習会の様子も記録し、ダンスミュージカル作品に付け加えていく。ナレーションに手話で聾啞の方にも参加してもらい、多くの人に呼びかけられるように工夫していく。

「ミツバチの持ち帰る花粉荷中の含有農薬検査」

尾崎幸仁

助成金額：700,000 円 【調査・研究部門／広報社会訴求部門】

ミツバチが巣に持ち帰る花粉団子(花粉荷)より、花粉荷中の農薬分析を行い、植物(花粉)が農薬に汚染されている実態を明らかにする。ミツバチにネオニコチノイド系農薬を混ぜた花粉を与えて、群れの強勢を調べた結果より CCD 様の状態になったという報告がされているが、日本国内において、ミツバチの持ち帰る花粉荷中の農薬分析を行ったという報告はない。ミツバチの花粉荷中の農薬分析を行い、基礎的データを収集し、農薬汚染の現状とミツバチ(生物・環境)に与える影響を調べる。

[abt サイトのトップに戻る](#)